



ご 挨拶

会長 犬塚 正憲(D48)

幹事長 伊藤 龍美(D60)

緑会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、緑会の諸行事および運営に対し暖かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスは、WHOが新型コロナ緊急事態解除を発表し、国内では感染法上の位置付けが「5類」に引き下げられ、緊急事態宣言を含む行動制限の処置がなくなり、社会経済活動が正常化に向かいました。その一方で、新変異株（JN-1）が出現し、さらに感染拡大（第10波）が進みました。また、ロシアによるウクライナ侵攻は戦闘3年目に入り戦況は膠着状態に陥っており、さらに中東ではイスラム組織ハマスとイスラエルの衝突があり国際紛争が絶えません。国内経済は、日経平均株価が34年ぶりにバブル期を超えた高値を更新しましたが、円安そして原材料費や物流費などの高騰を受けた歴史的な物価上昇に見舞われ、「物価高に負けない賃上げ」の実現が待たれません。産業界では「チャットGPT」をはじめとする生成AIが一躍脚光を浴び高度化と普及が急速に進みました。文章作成や業務効率化を目的とした導入が進む中、人知を超える可能性を秘めたAIを警戒して国際社会や各国政府は規制作りを急いでいます。明るい話題としては、「WBCで日本代表が世界一に輝く快挙を成し遂げたこと」、「米大リーグの大谷翔平選手が日本人初の本塁打王、MVPに輝いたこと」、「将棋の藤井聡太棋士が8冠制覇とタイトル戦20連覇の新記録を達成したこと」などが挙げられます。ほかに並び立つ者がいない存在となった二人の成長曲線は異次元の上昇を続けているといえます。今夏に開催されるパリオリンピックでの日本のアスリートたちの活躍が楽しみです。

そうした中、令和4年度に緑会の新役員として選任いただき、緑会活動をスタートして2年が経過いたしました。役員の皆様方の温かいご支援、ご指導を賜り、そしてまた、学内幹事の諸先生方にとりわけご尽力いただきながら、緑会活動を滞りなく務めさせていただきました。本年度の活動につきましては、緩和されたとはいえコロナ禍での活動となりましたが、できる限り対面での会議開催を行ってまいりました。

緑会の主要行事である「令和5年度キャリアサポート交流会」を令和5年11月8日に大学4号館ホール・NITech Hallにて対面開催しました。コロナ感染拡大防止のため懇談会中は

止といたしましたが、参加企業64社126名（うち本学卒業生53名）、学生の参加97名で、活発な開催となりました。

令和6年度の「総会・講演会」につきましては、6月15日（土）に対面開催をいたします。講演会では、近畿支部からご推薦をいただき関西化学機械製作株式会社の山路寛司氏に講演をお願いしております。本年も懇親会を開催する予定です。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

さらに、6月には第15回「化学公開セミナー」が開催を予定されています。緑会は2015年の第7回から共催いたしております。主として学生を対象に生命・物質化学分野の所属教員が自らの研究を優しく分かりやすく紹介しています。若い先生方の研究に対する夢や思いを直接聞くことができるたいへん有意義なセミナーであります。

以上、緑会の主な活動につきましてご紹介いたしました。皆様方には奮ってご参加いただきまして、緑会活動へのご支援をお願い申し上げます。

さて、同窓会の持続的な活動を展開するためには、その基盤となる新役員の増強が不可欠と考え、役員の皆様あるいは研究室からご推薦をいただきながらその取り組みを行っております。平成16年の国立大学法人化後約20年が過ぎようとしていますが、大学改組等により学科単位で形成された単科会の輪郭がぼやけてきてしまい、将来像が描けにくくなっています。そうした中で、緑会活動を継続するためにはOB・OGへの連絡手段の把握が大切と考え、会誌「炎」をOB・OGに郵送することによりその宛先確認をしております。昨年時点で、平成9年のOB・OGまでの宛先確認ができております。また、平成23年以降のOB・OGは名工大メールアドレスを取得しています。そうした中で、平成10年～平成22年間のOB・OGに対して連絡手段の確認ができておりません。さらに、連絡手段の把握を検討してまいります。また、学生連絡会にて新入会員の勧誘を行っておりますが、その際新たに、入会者に対して記念品の贈呈を行うことを考えています。

結びと致しまして、次年度より新役員のもと緑会活動が展開されますが、今後とも緑会の活動が円滑に実施できるようご指導、ご支援を賜りますとともに、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げてご挨拶とさせていただきます。



ご 挨拶

生命・物質化学分野長 中村 修一

春暖の候、緑会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本年度の生命応用化学科の生命・物質化学分野（D分野）の分野長を務めさせていただきます中村です。責任の重さを感じつつ、皆様のご期待に応えられるよう精一杯努めますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。また、毎年開催される「キャリアサポート交流会」、「化学公開セミナー」におきましては、緑会の皆様には大変お世話になっております。この場を借りて御礼申し上げます。

この数年間は、コロナ禍により教育や研究活動に大きな変革が求められました。しかし、この困難を乗り越え、今日では授業やイベント、就職活動が徐々に通常の形式に戻りつつあります。この経験から学んだ新しい方法論を取り入れながら、教育の質の向上を目指し、新しい時代のニーズに応じていくことを強く意識しています。

また、コロナ禍前の状態に戻りつつある研究活動では、学生たちが実験に没頭し、学会での対面発表が再び可能になる

など国内外の研究者との交流も活発になってきています。オンラインでの学会参加も並行して続けられており、新たな学びの機会・手法が増えていることを大変喜ばしく思います。

本年度は、新たな学長として小畑誠先生が就任され、大学組織のさらなる改革が期待されています。我々教職員一同は、これからも変化に柔軟に対応し、研究と教育に全力を尽くして参ります。

教育関連の近況報告としまして、物理化学分野の志田典弘准教授がご退職され、無機化学分野の猪股智彦准教授が教授に昇進されました。さらに、物理化学分野には新任の錦野達郎助教が着任されました。これらの先生方が、学科運営において重要な役割を果たされることを期待しております。

最後に、緑会の皆様には、今後とも本学科の学生・教職員に対する変わらぬご支援とご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、敬意を込めてご挨拶申し上げます。



ご 挨拶

生命・物質化学分野 就職担当 青木 純

緑会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には日頃より本学、本学科へ多大なご支援をいただき厚く御礼申し上げます。昨年担当の中村先生から引き継ぎ、2025年修了・卒業学生の就職担当を行う青木です。本年も変わらぬご支援をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

約10年前に就職担当を行いました。その時と比べるとコロナ禍を経て就職活動・求人活動の様変わりを実感しております。以前は企業の人事の方が会社案内や求人票を持って挨拶に来られていましたが、その割合が減り、郵送や電子メールでの案内に変わり、1日中企業面談をしなくても済むようになりました。Z世代の学生も同様に就職資料室のカギを借りに来る学生は皆無となり、Web上に就職担当事務員の方が立ち上げた就職情報サイトをもっぱら利用している状況です。その情報サイトには、求人票だけでなく会社説明会やインターンシップなど就職活動に必要な情報をワンストップで利用できる環境になっています。緑会の皆様から就活生に知らせたい情報がありましたら、就職担当までお知らせください。

ご存知のように年々就職活動が早期化しております。2023年から政府の方針によりインターンシップ定義の明確化とインターンシップを採用選考に利用できるようになったため、

春季や夏季のインターンシップに参加する学生が増えたという後追いの状況です。既に学生の就職活動が始まっているという後追いの状況です。就職活動が早期化するのには時代の流れで仕方がないかと思いますが、それに伴い就職活動が長期化することは学生にとっても企業にとってもはたまた社会にとっても良いこととは思えません。就活生には早期化は仕方がないが長期化しないように伝えている次第です。

毎年、緑会が主催してキャリアサポート交流会を開催していただいております。昨年、コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したことから、4年ぶりにオンライン開催から対面開催へ戻していただきました。この交流会は人事の方だけでなく、OG・OBの方と学生が直接会って話せる良い機会となっています。OG・OBの方々は、学生がキャリアデザインを考える上で身近なロールモデルになり、就職状況を見ますと学生の会社選びにも繋がっているようです。

以上、昨今の就職活動を取り巻く状況を述べてきましたが、学生の教育研究活動はもちろんのこと、就職活動を通して学生が社会人として活躍できるように指導して参りますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



◇◇◇ 東京支部だより ◇◇◇

東京支部長 大久保智明(D57)

緑会東京支部では、毎年5月と10月に学年幹事会を開催しており、昭和33年ご卒業の方から、平成29年ご卒業の方まで、現在29名が学年幹事として登録されています。コロナ禍のため、2019年10月を最後に対面での会議を開催できず、オンライン会議やメールによる連絡に終始していましたが、昨年5月から、3年半ぶりに対面による会議と懇親会を実施することができるようになりました。

また、毎年11月には名古屋工業会東京支部の総会・講演会・懇親会と兼ねる形で、緑会東京支部の「秋の集い」を開催しています。昨年度は、この「秋の集い」を正式に緑会東京支部総会と位置づけ、名古屋工業大学からも森秀樹名誉教授、青木純教授にご来賓としてご臨席いただき、懇親会とともに

盛大に実施しました。

この名古屋工業会東京支部の総会は、アルコールも交えて、コロナ前に復した形で開催されましたが、全90名の参加者中、緑会のメンバーは単科会として最大の28名を数え、一大勢力となっています（この総会の様子は、「ごきそ」の2024年1-2月号で報告されていますのでご参照下さい）。このような中で、名古屋工業会東京支部に「組織強化委員会」が設置され、名窯会関東支部や双友会東京支部など高齢化や会員減少その他の課題を抱える単科会の支援活動を緑会東京支部が中心となって進めています。

今後とも緑会の皆様のご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



◇◇◇ 近畿支部だより ◇◇◇

近畿支部長 西川 嘉一(G50)

緑会メンバーの皆様、今年はいかがお過ごしですか。コロナの対応が緩和され、世間の活動も戻ってきました。皆様も、積極的な活動を目指しませんか。

(1) 昨年の活動

幹事会にて今年度の総会延期を決めました。状況を見て、12月に昼呑み忘年会を行いました。年度末には、花見を企画しております。

(2) 今年の活動

今年度中に支部総会を行いたく、その準備中です。皆様の積極的な、ご参加をお願いします。別途、夏の懇親会、冬の忘年会を行います。

(3) 今後の体制について

現在の組織は、1年ごとにメンバーの平均年齢が1歳上がるという限界組織となっています。現時点では、若いメンバーの加入が簡単ではありません。そこで今年度はメンバー全員にヒアリングを行い、今後の組織の方向を決めていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いします。

(4) 当面の対応

現時点で大阪支部の活動は、ほぼコロナ前に戻っていますので、各種行事にふるってご参加ください。

(大阪支部のHP：<https://nit-osaka.com>)



ご 挨拶

錦野 達郎

緑会会員の皆様、初めまして。この度、2024年4月より生命・応用化学科の助教として着任致しました錦野達郎と申します。名古屋工業大学には予てよりご縁があり、昨年度からポスドクとしてお世話になっておりました。今後は大学教員という立場から、本学の発展・学生の成長に貢献できるよう尽力させていただきます。

私はこれまでに「生物がどのようにエネルギー変換をし、生きる・動く・増えるためにエネルギーを使うのか」に興味を持って研究を進めてきました。昨年度から、光を受容しエネルギー変換を起こす光受容膜タンパク質「ロドプシン」の生理機能解明に向けた研究に取り組んでいます。ロドプシンは、イオンチャネル、イオンポンプ、センサー、酵素等様々な機能を持つことが分かっています。しかしながら、「ロドプシンの持つ機能が生体内で発揮させることによってどのよ

うな生命現象が生じるのか」という基礎研究の問いにはまだ未解明な点が多く残っています。一方でロドプシンを活用した応用研究では、「光によって細胞の活動を制御する光遺伝学」や視覚再生等の「疾患治療のための創薬研究」が進められています。私は、ロドプシンの機能の多様性とエネルギー変換の分子機構を解明することによりそれらの基礎研究と応用研究の橋渡しをすることで、学術発展に留まらず社会貢献に繋がるように研究活動を邁進して参ります。また、学生に対しては授業、実習、ゼミなどの教育活動を通して、「独自の専門性」という強みを備え、かつその強みを異分野でも発揮するための「分野外の人とも積極的に交流できる素養」をもつ技術者・研究者・教育者を輩出できるよう取り組んでまいります。今後とも何卒お願い申し上げます。

第14回化学公開セミナー報告

緑会庶務幹事 高田 主岳

初夏の気配が感じられる2023年6月21日に、既に14回目となる化学公開セミナーが名古屋工業大学4号館ホールで開催されました。ご講演は水野稔久也先生と、もう一方準備されていた先生が体調不良となり、急遽ピンチヒッターとして登場された川崎晋司先生に頂きました。

水野先生は“蛋白質・ペプチドへの両親媒性付与による機能設計”というタイトルで最新のご研究をお話しくれました。蛋白質の構成ユニットであるアミノ酸の一次構造に疎水鎖を組み込むことにより、蛋白質の機能を高めたり、新たな機能を発現することができるものの、これまでは疎水性が高くなることにより凝集してしまう欠点があったとのこと。水野先生はアミノ酸配列を選択することと、2本の疎水鎖を用いることで、この問題を解決されました。ご講演の詳しい内容は、2023年度の“ごきそ”にも掲載されていますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

川崎先生は“カーボンナノチューブでカーボンニュートラルに貢献”という演題で3つのトピックスをお話しくれました。1つ目は大学改革の一環として創設される大学院博士後期課程の新専攻（国際連携エネルギー変換システム専攻）および博士前期課程の新プログラム（カーボンニュートラルなど）のお話し、後の2つではカーボンナノチューブを使った太陽光CO₂還元触媒、および太陽光水素生成と電池発電を繰り返すエネルギーサイクルという、エネルギー問題の解決につながる最新の研究をご紹介します。

参加者は62名にのぼり、質疑応答の時間には、普段は他分野の先生のお話を聴く機会がないこともあってか、先生方から多くの質問があり、活発な討論が行われていました。今後この化学公開セミナーは続きますので、OB・OGの方もぜひご参加ください。



2023年度キャリアサポート交流会報告

緑会庶務幹事 高田 主岳

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への以降を受け、各種行事の開催がようやく叶うようになってきたことから、2018年から実に5年ぶりとなる2023年11月8日にキャリアサポート交流会が対面形式で開催されました（2020年～2022年はオンライン開催）。4号館ホールにおいて、緑会より伊藤龍美幹事長のご挨拶に始まり、生命・応用化学学科長の岩田修一先生ならびに就職担当の青木純先生からお言葉を頂いたのちに、NITech Hallに移動し、従来通り企業のポスターに

よる会社説明が行われました。参加企業数は64社（企業参加者数126名（うちOBおよびOGは53名））、参加学生数は97名となり、会場の至る所で熱心な説明・質疑応答がなされました。学生および企業にアンケートも実施しましたところ、好意的な意見が多く寄せられました。

久しぶりの対面開催となりましたことから、オンライン開催時およびコロナ直前の対面開催の2018年度の参加者数と比較してみました。

表 キャリアサポート交流会への参加者数

	2023	2022	2021	2020	2019	2018
	対面	オンライン	オンライン	オンライン	中止	対面
学生	97名	91名	123名	178名	—	113名
教員	12名	4名	5名	5名	—	5名
企業	64社	61社	75社	66社	—	86社
企業関係者	126名	90名	129名	117名	—	152名
(OB&OG)	53名	27名	40名	32名	—	?
緑会役員	3名	11名	22名	16名	—	9名

2022年度から案内状を送る企業を、最近の参加実績がある、あるいは本学科から学生を採用したと限ったことから、参加社数は直接比較できませんが、学生の参加は残念ながら減少傾向です。また、学生の参加者数内訳を見ますと、就職活動と言う観点では主たる対象学年でありますM1の参加率が全M1の51%、B3では全B3の3%でした（3年生はこのような行事にはなかなか参加しづらいという事情もあるかと思えます）。このような結果に基づきまして、緑会の常任幹事会では、OB&OGと学生との交流も含めて、今後のキャリアサポートのあり方について議論を重ねているところであります。今後にご期待ください。



名工大メールアドレス取得・利用の勧め

現在、緑会ニュース「炎」は年一回発行し、郵送しております。郵便料金と電子メールの価格差は今後ますます広がっていくことを考えると、将来的には電子メールに移行する必要があります。その際にメールアドレスが必要となりますが、個人メールアドレスを収集し、緑会で管理することは負担が大きく難しいためできません。そこで、名古屋工業大学卒業生連携室が管理する名工大メールアドレスを利用したいと考えております。卒業生の方なら、生涯無料で利用でき、プロバイダの変更や退職等によりメールアドレスが不明になることがない利点があります。下記に申込方法を卒業生連携室HPより転載しますので、ご利用ください。

グリストやスケジュール管理などGoogleが提供する各種サービスもご利用いただけます。

なお、ご登録いただきました個人情報については、本学で適正に管理し、このウェブサイトに掲載している個人情報保護方針の「個人情報の利用目的」以外には使用しません。また、断りなく同窓会以外の団体や個人等に提供することはありませんので、御安心ください。

本サービスによって、皆様方での交流や本学との情報交換がより一層促進されることを期待しております。

名工大メールアドレスサービス（申込み、確認・変更）
<https://alum.nitech.ac.jp/service.html>

名工大メールアドレスの申込みと登録情報の確認・変更のお手続き

改訂 平成29年4月1日
 平成24年9月1日

名古屋工業大学では、卒業生の皆様に、生涯無料で利用できる名工大メールアドレス（Gmail）の提供をしております。
 【※2012年3月以降に卒業された方々と、在学中の学生の皆様には、既に名工大メールアドレス（Gmail）が発行されております。】

このメールアドレス（Gmail）は、本学卒業生専用のドメイン「nitech.jp」を持ち、本学から定期的にお届けするメールマガジンの配信アドレスになります（例：名工太郎さんの場合、t.meikou.xxx@nitech.jp（xxxは3桁の乱数））。

また、メールマガジンをお届けする以外にも、皆様方での連絡手段としてご利用いただけるだけでなく、メール

第15回化学公開セミナーの御案内

2024年度の化学公開セミナーは、2024年6月26日に以下のように開催されます。最新の研究内容が聞けますので、ぜひ御参加ください。

第15回化学公開セミナー

日時：6月26日（水）14:40～16:05
 場所：名古屋工業大学4号館ホール
 参加費：無料

講演1 14:40～15:20

タイトル：糖鎖合成を基軸とした生命機能研究
 講師：宮川 淳 准教授 座長：山村 初雄 教授

講演2 15:25～16:05

タイトル：分子の表面修飾による機能性材料開発
 講師：猪股 智彦 教授 座長：小澤 智宏 教授

教員の異動（2023.4以降）

退職	2024年3月31日	志田 典弘 准教授
着任	2024年4月1日	錦野 達郎 助教
昇任	2024年4月1日	猪股 智彦 教授

2023年度（令和5年度）卒業生就職先一覧

●博士前期課程●

アイカ工業(株)、(株)アイシン、朝日インテック(株)、(株)ADEKA、
(株)アドヴィックス、アビ(株)、イビデン(株)、AGC(株)、花王(株)、花王(株)、
関西電力(株)、関西ペイント(株)、キオクシア(株)、(株)クボタ、(株)クラレ、
(株)クレハ、JFEスチール(株)、(株)JCU、(株)シマノ、住友電装(株)、
住友理工(株)、積水化学工業(株)、太陽化学(株)、竹本油脂(株)、
中部電力パワーグリッド(株)、中部電力ミライズ(株)、
(株)DNPファインケミカル、(株)テクバン、(株)デンソー、東亜合成(株)、
東ソー(株)、東和耐火工業(株)、トヨタ自動車(株)、トヨタ紡織(株)、
(株)日立製作所、ニチコン(株)、ニチバン(株)、日油(株)、日東電工(株)、
日本カーバイド工業(株)、日本ガイシ(株)、日本製鉄(株)、
日本製鉄(株)、(株)ネットプロテクションズ、
(株)ノリタケカンパニーリミテド、(株)ノリタケカンパニーリミテド、
パナソニックエナジー(株)、(株)PALTAC、
(株)フジインコーポレイテッド、フタバ産業(株)、
プライムアースEVエナジー(株)、

プライムプラネット エナジー&ソリューションズ(株)、
ブラザー工業(株)、ポリプラスチックス(株)、本田技研工業(株)、
(株)Mizkan J plus Holdings、三菱商事(株)、(株)村田製作所、
(株)メニコン、森永製菓(株)、森永乳業(株)、(株)ヤクルト本社、
リンナイ(株)、(株)レゾナック

●第一部●

(株)アイヴィス、王子ホールディングス(株)、春日井市役所、
興和工業(株)、(株)神鋼環境ソリューション、三甲(株)、
セイコーエプソン(株)、(株)大同分析リサーチ、デンソーテクノ(株)、
東邦ガス(株)、トヨタ紡織(株)、日清紡マイクロデバイス(株)、
林テレンプ(株)、美濃窯業(株)、ヤマハ発動機(株)、リンナイ(株)

●第二部●

東レエンジニアリング中部(株)、ポリプラスチックス(株)、
(株)マクスエンジニアリング

2024年度 緑会総会の御案内

緑会総会・講演会を下記の要領にて、名工大内で開催致します。また、総会後に懇親会も開催致します。同窓生をお誘い合わせの上、是非とも御参加ください。

記

日 時 2024年6月15日(土) 14:00より
場 所 名古屋工業大学 1号館0112講義室

○総 会

○大学近況報告 生命・応用化学科 分野長 教長 中村 修一 教授

○講 演

題目 「飲料用アルコールの蒸留」
講師 山路 寛司 氏 (D49)

○懇親会 生協（名古屋工業大学内） 17:00～19:00

【定員：40名、参加費：2000円】

総会・懇親会に御参加いただける同窓生の皆様におかれましては、6月3日(月)までに、方法①あるいは②にてご連絡ください。

方法① 下記の事務局宛、E-mailまたはハガキにて「お名前」「卒業年」「御連絡先」を御連絡
方法② 右のQRコードあるいは<https://forms.office.com/r/JfGdHskMc2>

よりご参加フォームにアクセスの上、御連絡

懇親会について会場の収容定員の都合から、申し込み多数の場合は
先着順とさせていただきます。

連絡先 名古屋工業大学 緑会事務局 宛

E-mail : midori@ach.nitech.ac.jp

住所：〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町



◆◆◆◆◆ 名工大、緑会、工業会ホームページの紹介 ◆◆◆◆◆

最新の情報をホームページに掲載しております。

名工大HP : <http://www.nitech.ac.jp/>

緑会HP : <http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/>

名古屋工業会HP : <http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

住所変更などの連絡は以下にお願いします。

E-mail : renkei@adm.nitech.ac.jp

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 卒業生連携室